



だれの子どもも  
ころさせない

## 改憲問題の新たな局面 と市民の課題

2021年12月15日 渡辺治講演会より

### 1. 安倍・菅政権の悪政の数々、岸田自民党は悪政継続・強化

- ①大企業法人税減税、新自由主義、社会保障の削減、保健所統廃合・病床数削減、非正規・雇用破壊
- ②憲法9条破壊と改憲・日米軍事同盟強化の継続・強化。トランプ政権下で中国覇権主義との戦いと世界戦略の転換・バイデン政権は軍事同盟網の強化。安保法制強行・「敵基地攻撃能力」・南西諸島への自衛隊配備・重要土地調査規制法
- ③「官邸主導」強権政治と民主主義破壊

### 2. 立憲野党は総選挙で何を狙ったか？政権交代による上記3つの悪政の阻止・転換

- ①安倍憲法破壊に対抗する「市民と野党の共闘」の誕生と強化
  - \*2014年「総がかり実行委員会」結成・安保法制廃止の共闘
  - \*2017年「安倍9条改憲NO!市民アクション」に9条の会も合流
- ②「悪政阻止の共闘」から「政治を変える共闘」へ発展
- ③自公政権を倒すことを目指す共闘へ
  - \*全国の小選挙区単位で市民連合結成加速
  - \*21年9月8日市民連合「衆議院総選挙における野党共通政策の提言」野党4党合意
- ④9月30日立憲民主党と日本共産党との閣外協力合意。289の小選挙区で207で候補者1本化。6年10カ月を経て市民と野党の共闘が政権を変えるところまで来た。

### 3. 総選挙の結果、野党共闘の目標に照らしてどうであったか。

- ①比例で共闘野党は、自公多数をひっくり返すうねりをつくれなかった
  - \*比例での得票率 自公47.0%, 立憲4党32.88%で自公優位だった。

自公政治に代わり野党共闘の政権でこんな政治をするという構想を国民に訴えきれなかった。

\*自民の共闘攻撃の焦点であった安保・防衛問題で共闘政権の平和構想の訴えが出来なかった

#### ②小選挙区では大きな力を発揮した

\*共闘効果・・・奈良1区では比例4党の票を3万票上回る。207の小選挙区の内59の選挙区で勝利。

自民党が強い県でも共闘すれば勝利することが証明された。接戦はしたけど負けたところも多かった。

#### ③自民党が野党共闘に危機感を持ち、死力を尽くして選挙戦で巻き返しを行う。2つの手段に出る。

\*共闘攻撃を行う。「今回の選挙は共産主義の入った政権か自由と民主主義の政権か体制の選択選挙だ」。「安保、自衛隊で根本的に違う立憲民主党と日本共産党が共闘し日本の安全はどのようなのか、そんな野合に任せられるのか」

\*自治体首長、議員、企業、ゼネコン党員動員、小選挙区での巻き返し、最後の1週間で反撃に出る。

### 4. 総選挙の結果、新たな局面を迎えた改憲問題と運動の課題



#### ①岸田自民党による安倍改憲、9条破壊政策の継承

\*異例の総裁選、日米軍事同盟、改憲問題が論点となったのは初。高市—安倍の力による改憲に踏み込む。

\*自民党8つの重点公約、高市政調会長が作成。第6の柱「毅然とした日本外交の展開」

「国防力」の強化で日本を守る。中国を名指しする。防衛費 GDP 2%に。辺野古の基地問題。



題。第8の柱 日本国憲法の改正を目指す

## ②改憲勢力をめぐる新たな配置

- \* 維新の4 | 議席、11月2日松井代表の改憲積極発言。政局に絡めて連立政権を組み内閣に入りたいとの意思表示。
- \* 国民民主党の共闘離脱と改憲積極論の加速— 玉木代表の毎週憲法審査会開催発言
- \* 立憲民主党の変化— 枝野氏辞任、山花郁夫氏、辻元清美氏落選。改憲問題で頑張ってきた人たちが落選。
- \* 自民党、11月19日「憲法改正推進本部」を「憲法改正実現本部」に

## ③参院選に向け、市民の運動と「市民と野党の共闘」の強化を

- \* 「改憲がいかに危険か」学習を行い「改憲4項目」を市民に訴えていく。新署名をすすめる。
- \* 「日米軍事同盟や改憲では日本の安全は守られない」「憲法9条に基づいた平和のあり方、東アジアの平和のあり方」を市民に訴える。
- \* 憲法審査会を監視し、立憲野党を励ます運動を
- \* 参院選で共闘の力で改憲勢力を3分の2に止めよう

### 九条を守るには野党共闘しか無い

最後に、「政権共闘の時代は始まったばかり。政権共闘をめぐる攻防の時代が始まった。共闘をめぐる逆流やギクシャクは必ず起きる。新自由主義・改憲に終止符を打ち、自公政治を変えるにはどんなに大変でも共闘の道以外にない。野党共闘はたかだか6年10カ月しかたっていない。55年間、社会党と共産党、民主党と今まで一度も共闘はなかった。それが、NHK報道でも野党の国体での協議が定番としてニュースに流れている状況をつくっている。

新自由主義と改憲の政治を変えていく運動をすすめる。9条の会の本来の役割が始まる」と述べられました。

(次世代に憲法9条を残したいおばちゃん)

## 「9の日アクション」 近鉄高の原駅前

2021年12月9日3時から近鉄高の原駅で9日アクションを行いました。

今日の参加者は11名で高校生や通行人に「憲法9条を守りましょう」と署名やチラシを配布して訴えました。昨日、12月8日は開戦の日、80年前に真珠湾攻撃を行ってから80年目です。招集令状の赤紙を配り、通行する若者に「赤紙1枚で命を奪われた若者の無念さ」を訴え、再び、若者を戦場に送らないために「改憲4項目に反対する署名」をお願いしました。

西谷文和さんから提供頂いた最近の紛争・戦闘で犠牲となった子どもたちの写真を掲示し通行中の方の関心を得ました。

大阪弁護士会作成の「緊急事態条項」のパンフを配り、「緊急事態条項」が憲法に加憲されれば、ナチが「緊急事態条項」と同じ憲法条項を使ってファシズムに突き進んだこと、自民党や維新は、現憲法の持つ基本的人権・国民主権・恒久平和主義を無くし戦前の大日本帝国憲法への回帰を狙っていると訴えました。

## “平和っていいね フェスティバル”

生協平和の会と共催  
3月下旬開催予定  
ご協力と企画をお願いする実行委員会  
へのご参加をお願い致します。

1月20日(火) 10:00より生協朱雀店会議室にて  
**世話人会**です。世話人でなくても、参加していただきご意見・活動等についてお聞かせ下さい。

発行者：平城ニュータウン九条の会

✉ : [heijyounewtown9article@gmail.com](mailto:heijyounewtown9article@gmail.com)

HP: <https://www.nara9jyonet.com>